

つなげよう つながろう
ふたばのわ



コミュニティ情報紙「ふたばのわ」は、
町民皆さんとそれを支える全ての人を巻き込み
それぞれの思いやあらゆる情報に
共有・共感できる紙面をめざしています。
月に一度、ふたばのわのページをめくって
みんなで一緒に笑顔になりませんか。

表紙は富岡太鼓まつり(富岡町)

▶ 8度目の3.11を迎えて(P2~3)

- ▶ あの日から8年 町内は今…(P4) ▶ 8年間支えてくれた方々に感謝(P5)
- ▶ スマイルフォト・情報掲示板(P6) ▶ お知らせ・町職員からのありがとうメッセージ(P7)
- ▶ 放射線モニタリング情報・ふたさぼミニコラム・ブログふたばのわ(P8)

■発行：双葉町秘書広報課(☎0246-84-5202) ■企画・編集：双葉町復興支援員(ふたさぼ)

インターネットでも つなげようつながろう ふたばのわ

f 町公式フェイスブックページ ▼
<http://facebook.com/fukushima.futaba>

町公式ブログ ▼
<https://futabanowa.wordpress.com>





8度目の3.11を迎えて

花絵に寄せる思い 双葉町復興支援員

3月10日から12日にかけて、いわき市の復興公営住宅勿来酒井団地集会所で復興支援員主催のフラワーズエールが行われました。フラワーズエールは、インフィオラータと呼ばれる花絵を来場者の皆さんと一緒に制作する東日本大震災の追悼行事です。平成29年から開催し、今年で3回目の開催となりました。

本年の花絵のテーマは「祈り」です。ひとつの花絵に二つの「祈り」を込めました。ひとつは震災犠牲者に対する「鎮魂の祈り」、もうひとつは「双葉郡の再生と復興への祈り」です。中央の樹木は、哀悼の意を灯そうそくの炎、そして多くの人が集う町を表現しています。双葉郡全体が再びたくさんの人々が行き交う輝く場所になることを祈念し、復興支援員が考案、日本でのインフィオラータの第一人者である藤川靖彦氏が花絵へと展開しました。

10日の制作では勿来酒井団地の住民や近隣に住むいわき市民など約20人が参加し、7メートル四方のキャンバスに約8000本分のカーネーションの花びらを使って花絵を描きました。完成した花絵の前に参加者の皆さんからは「8年前の3月11日を思い出して泣けてくる」「こんなに大きな花絵なら空からも見え供養になるだろう」など様々な思いを伺うことができました。

11日には夢ふたば人との共催による追悼式が実施され、献花に訪れた皆さんも一緒に花絵を囲み黙祷を捧げました。夢ふたば人中谷祥久会長からは「一時帰宅をした時、町がみんなの帰りを待っているなど感じました。8年が経ってしまいましたが、町に帰還できるよう頑張ります」と挨拶があり、うなずきながら聞いている方もいました。花絵は12日まで展示されフラワーズエールは終了しました。

東日本大震災とその後の東京電力福島第一原子力発電所の事故が町と町民に与えた影響はあまりにも大きく、8年が経過した今も3月11日は様々な思いが交錯する特別な一日です。花絵を制作する時間はそれぞれの思いを共有する時間でもありました。



3月11日は県南双樹会の会員とともに14時46分に黙祷を捧げました。3月11日が近づくたびに報道で東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故が取り上げられますが、町民はこの8年間変わらず心の傷を抱えて過ごしてきたのではないのでしょうか。町の復興が着々と進められていますが、町民の心の復興なくして真の双葉町の復興は実現しないと思います。



「町民の心の復興を」
双葉町県南双樹会
館林孝男 会長

3月11日に双葉町埼玉自治会として追悼式を実施し、皆さんと一緒に過ごしました。8年が経過した今も帰りたいけど帰れないというジレンマの中にいます。双葉町民として生きていきたいけれど、お世話になっている埼玉県加須市への思いや8年間で培ってきた地元への愛着もあります。今は加須市の方や支援者の方々、自治会の皆さんと過ごす時間を大切に過ごしていきたいと思えます。



「忘れられない
双葉への思い」
双葉町埼玉自治会
藤田博司 会長

今回は3・11に合わせて、3月9日に双葉町の中野地区でじゃんがら念仏踊りを踊りました。町の復興が着々と進んでいる一方で、神社の社や鳥居が壊れたままのところもあり、地域整備まではなかなか手が回らないのかなと感じました。3月11日を迎えるたびに、なぜこんなことが起きたのだろうという気持ちになりますが、現在の生活拠点で少しでも前向きな気持ちで過ごせたらと思います。



「今の生活を前向きに」
山田芸能保存会
鈴木慶一 会長



あの日から8年 町内は今…



双葉駅東側(平成31年2月27日撮影)



企業立地に関する説明会(平成31年2月15日)



JR常磐線双葉駅(平成31年3月7日)

双葉町では3年後の2022年春の帰還開始を目指し、町内の除染、生活環境・インフラの整備が進められています。新たな産業・雇用創出の場として海側のエリアに整備されている中野地区復興産業拠点や、2020年春の供用開始に向けて整備が進められている復興インターチェンジ周辺の寺沢地区の変化は特に著しく、復興が加速している様子が見取れます。中野地区復興産業拠点の企業誘致に向けた取り組みも活発化し、2月15日に双葉町役場いわき事務所で開催された「企業立地に関する説明会」には双葉町内の企業数社を含む24社が参加しています。

また、JR常磐線も2020年春の全線開通に向けて復旧作業が急ピッチで進められているとのことで、3月7日にはその工事の進捗状況が報道陣に公開されました。駅の東西を結ぶ自由通路、橋上駅舎の整備工事も合わせて進められており、早ければ今年の12月に試運転が予定されているとです。

8年間支えてくれた方々に感謝

東日本大震災後、全国各地から様々なご支援をいただいています。

ダルマに添えられたメッセージ



8年経った今も双葉町を思ってくれている人たちがいます。関西大学の社会安全学部近藤ゼミの皆さんの活動もそのひとつです。近藤ゼミの皆さんは友好町京丹波町ケーブルテレビとタイアップし、2年前から双葉町に励ましのメッセージを送るプロジェクトを続けています。メッセージは色とりどりの折り紙で作られたダルマに綴られており、2年間で1200を超えるメッセージが寄せられました。折り紙のダルマの表情は一つとして同じものではなく「愛」や「絆」などそれぞれの思いが込められています。近藤ゼミの皆さんは双葉町ダルマ市など大きなイベントのたびに双葉町を訪れ、パネルなどでこのプロジェクトを紹介するかわら、町民の皆さんと一緒に折り紙を折ったりお話をしたりとさらなる交流を進めています。

プロジェクトに参加している皆さんは「今後も様々な形で双葉町を支援していきたい」と話しています。

町民の絆づくりを支えてくれる人たち



3月17日、東京都千代田区飯田橋にあるセントラルプラザで、避難者と支援者によるふれあいフェスティバルが行われました。このイベントは広域避難者支援連絡会in東京などが主催したもので、関東圏にお住まいの避難者の皆さんの交流などを目的とし、岩手県、宮城県、福島県などから避難している約170の方が参加しました。双葉町からは双葉町埼玉自治会、はなみずき婦人学級、東京ふれあい双葉会の皆さんなどが参加しました。埼玉自治会の皆さんは、手作りのおこわや新鮮な野菜を販売するブースを設置し参加者の皆さんに大好評でした。

各避難先での交流会は支援団体のご尽力によるところが大きく、双葉町民にとっても同郷の人と気兼ねなく過ごせる時間は何よりの癒しになっています。

ふたさぼのわ スマイルフォト

～笑顔でみんなをつなげたい～



2月20日(水)
社協タブレット教室
(加須市)



3月13日(水)
町立中学校卒業式
(いわき市)



自治会等イベント

双葉町県南双樹会(白河市)

4/15(月) ▶ 総会

4/26(金) ▶ 料理教室



県北ふたさぼ会(福島市)

4/26(金) ▶ 総会

双葉町埼玉自治会(加須市)

5/3(金) ▶ 騎西藤まつり 参加

5/11(土) ▶ 総会

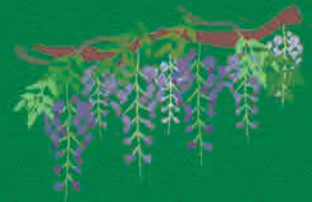
情報掲示板★★

イベント(その他)

加須市騎西藤まつり

日時:4/28(日)~5/5(日) 場所:玉敷公園

※双葉町埼玉自治会、はなみずき婦人学級、双葉町相馬流れ山踊り保存会などが5/3(金)に出演する予定です。



自治会、町民グループさまの交流会、イベント情報などございましたら、この掲示板をご活用ください。掲載ご希望の場合は、双葉町復興支援員(ふたさぼ)までお知らせください。

※3月18日時点の情報です。

お知らせ

【個人版私的整理ガイドラインのご案内(福島財務事務所)】 ～東日本大震災により被害を受けられた皆さまへ～

「個人版私的整理ガイドライン」の利用で、震災前からの住宅ローンなどが免除されます。※債務の免除には、一定の要件を満たすことが必要となります。

個人版私的整理ガイドラインを利用するメリット

- 1 生活再建に必要な資産(500万円・義援金等)は手元に残せます。
※被災状況、生活状況などの個別事情により減額があり得ます。
- 2 弁護士などの登録専門家が手続きをサポートします。
また、国の補助により弁護士費用はかかりません。
※運営委員会に登録された弁護士の費用に限ります。
- 3 債務整理したことは個人信用情報として登録されません。
※金融機関等がガイドラインの利用を理由として新たな借入れを制限することはありません。

詳しい内容は、下記に問い合わせください。

一般社団法人 個人版私的整理ガイドライン運営委員会

コールセンター TEL:0120-380-883

(受付時間: 平日9時～17時)

URL: <http://www.kgl.or.jp/>



町職員からの

ありがとう
メッセージ

双葉町からの
ありがとうを
全国へ伝えませんか

このコーナーでは、2017年8月から開始された双葉町ありがとうメッセージプロジェクトの中で、町に寄せられた物心両面にわたるご支援の数々に対する、町職員の皆さんからの感謝のメッセージを紹介します。

埼玉県でお世話になった皆さまへ

3月12日の朝、避難のために川俣町へ向かいました。当時はすぐに双葉町に戻れるだろうと思っていました。しかし、原発事故により3月19日にはさいたまスーパーアリーナへ移動することになりました。埼玉へ向かう途中バスの中で「この先どうなるのだろう、どうすればいいのだろう…」と不安でいっぱいでした。さいたまスーパーアリーナに到着すると、多くのボランティアの方々が出迎えてくれました。避難者を受け入れる手配は大変なご苦労があったと思います。私は、心身ともに疲労が限界に達していました。ボランティアの皆さんのお陰で少し気持ちに余裕が生まれました。中でも銭湯の入浴支援に感謝しています。子ども達の中には、避難のストレスで皮膚炎が悪化するなどの症状をかかえている子もいました。その時、ライオンズクラブの支援による無料バスの送迎付きで銭湯を利用することができ、とても助かりました。他にもいろいろな所で、物資や炊き出し、イベント等のご支援をいただいたこと感謝しています。埼玉県でお世話になった皆さまありがとうございました。

放射線モニタリング情報

福島県内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

平成31年3月22日

- ① 福島市 北幹線第二応急仮設住宅 …… 0.10~0.17
- ② 郡山市 日和田応急仮設住宅 …… 0.11~0.25
- ③ 郡山市 喜久田応急仮設住宅 …… 0.08~0.62
- ④ いわき市 南台応急仮設住宅 …… 0.05~0.06
- ⑤ 福島市 県北保健福祉事務所 …… 0.14
- ⑥ 郡山市 県郡山合同庁舎 …… 0.08
- ⑦ 白河市 県白河合同庁舎 …… 0.06
- ⑧ 会津若松市 県会津若松合同庁舎 …… 0.06
- ⑨ 南会津町 県南会津合同庁舎 …… 0.04
- ⑩ 南相馬市 県南相馬合同庁舎 …… 0.07
- ⑪ いわき市 県いわき合同庁舎 …… 0.06



双葉町内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

地区	地点	平成24年 4月1日	平成31年 3月22日
新山	新山公衆トイレ脇公営駐車場	—	0.54
新山	新山公民館	—	0.19
新山	双葉町歴史民俗資料館	—	0.23
新山	双葉南小学校	—	0.41
新山	双葉中学校	—	0.18
新山	県立双葉高等学校	—	0.22
新山	中央公園	—	0.24
下条	双葉総合公園	2.60	0.72
下条	双葉町役場	—	0.23
郡山	郡山公民館	1.48	0.38
細谷	細谷公民館	2.31	調整中
三字	三字公民館	2.53	0.83
山田	山田農村広場	24.47	4.71
石熊	石熊公民館	12.10	2.01
長塚	双葉町体育館	6.25	1.17
長塚	長塚二公民館	3.26	0.31

地区	地点	平成24年 4月1日	平成31年 3月22日
長塚	双葉町青年婦人会館	—	1.72
長塚	町西住宅	—	0.19
長塚	JAふたば北部営農センター	—	5.20
長塚	双葉北小学校	—	0.66
長塚	ふたば幼稚園	—	1.38
長塚	双葉駅北側駐車場	—	0.33
長塚	双葉町児童館	—	0.28
羽鳥	上羽鳥	1.89	0.51
羽鳥	羽鳥公民館	1.73	0.42
寺松	寺松公民館	3.46	0.99
渋川	渋川公民館	1.48	0.40
鴻草	北部コミュニティーセンター	4.30	0.75
中田	中田公民館	0.77	0.21
両竹	両竹公民館	0.54	0.09
浜野	浜野公民館	0.34	0.07

原子力規制委員会ホームページより

※全国及び福島県の空間線量測定結果については原子力規制委員会ホームページでご覧になれます。▶ <http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

ふたさぼミニコラム

桜の花も盛りを過ぎ、吹く風も暖かく感じられる季節となりました。復興支援員(ふたさぼ)の小松です。私は昨年27歳になったばかりなのですが、先月自宅の階段を上っていたところ腰に急激な痛みが走り「急性腰痛症」と診断されました。俗にいう「ぎっくり腰」です。海外では古来より体調不良の原因は魔女の仕業と考えられているようで「ぎっくり腰」は「魔女の一撃」とも言われているそうです。日頃の不摂生が祟ったのでしょうか。しばらくコルセットが外せそうにはありません。

小松友紀

文字と写真でコミュニケーション ブログふたばのわ

今月皆さんにぜひ読んでいただきたいブログは3月29日に更新した「地域のきずなを繋ぐ場～三字行政区総会・再会の集い～」です。3月24日いわき湯本温泉 吹の湯旅館にて平成30年度双葉町三字行政区総会・再会の集いが開催されました。

会では、三字芸能保存会による神楽が披露され、1年ぶりに集まった地域の皆さんが交流を楽しまれました。ぜひご覧ください。

地域の絆を繋ぐ場～三字行政区総会・交流会～

3月24日(日)いわき湯本温泉 吹の湯旅館にて平成30年度双葉町三字行政区総会(書人)の中には趣向に凝らされている方もいらっしゃいます。趣向の利便が図る場からと東京部や栃木県など、遠方からの方が参加しました。



総会は、東日本大震災で犠牲になられた方への黙祷からはじまり、伊勢大町長から町内の復興状況の説明が行われました。総会の中で、現在取り組んでいる伝統芸能保存プロジェクトを説明させていただきました。この伝統芸能保存プロジェクトは双葉町に在る伝統芸能を後継者不足を克服するためです。このプロジェクトを知った三字芸能保存会の皆さんから総会での開催に因る伝統芸能の保存を通じて皆さんの絆維持をお手伝いします。